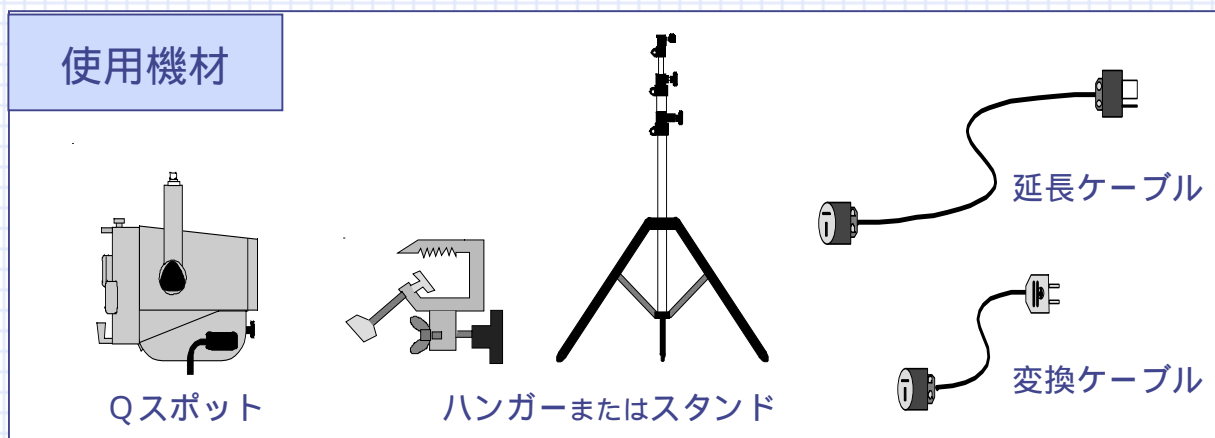


Qスポットライトの特徴

- ◆ Qスポットライトには次のような特徴があります
軽量・小型なので狭い空間での使用に便利
スポットからフラットまでムラのない光

Qスポットライトの使用

- ◆ Qスポットライトをセッティングしてみましょう

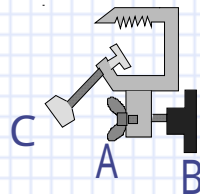


<ハンガーとスタンドの使い分けについて>

*ハンガーを使用する場合は会場に吊り込み可能なパイプ（バトン）が必要です。
スタンドはステージ上に置いて使用する場合に使用します。

*ハンガーにスポットを取り付けるときは

図A, Bのネジをゆるめてスポットに差込みネジを締めて固定します。
ハンガーに取り付けたスポットをバトン（パイプ）に取り付けるときは
図Cのネジをしっかりと締めて固定します。



*スタンドにスポットを取り付けるときは

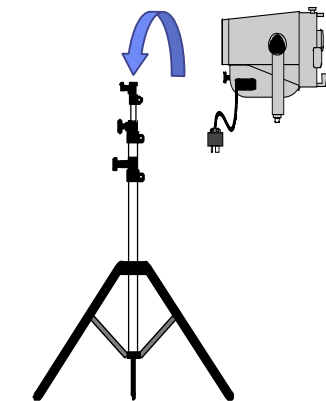
Aのネジをゆるめて脚を広げて固定します。
スポットを取り付けるときはCのネジをゆるめてスポット
を差込みネジを締めて固定します。
Bのネジをゆるめてスタンドの高さを調整します。

セッティング方法 (スタンド使用の場合)

スタンドの足を広げ固定する

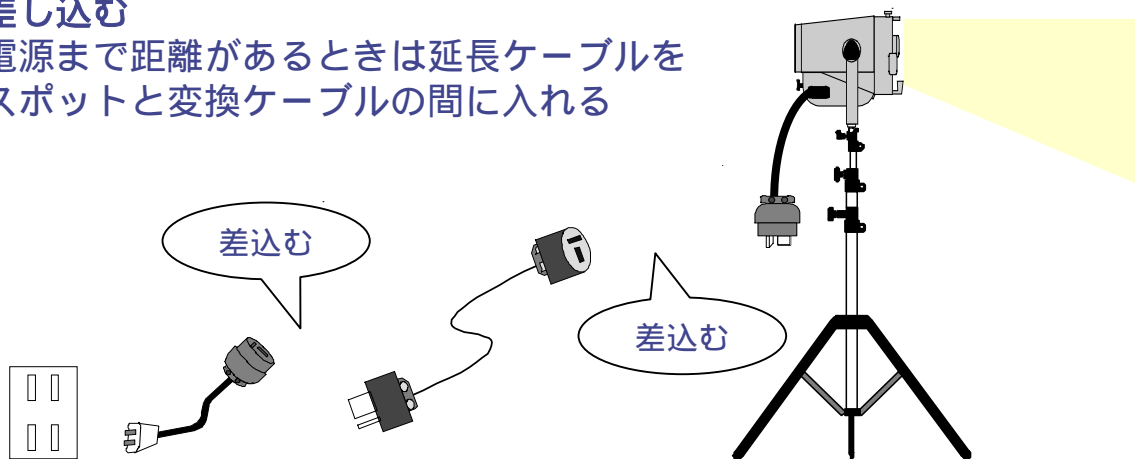


スポットを取り付ける



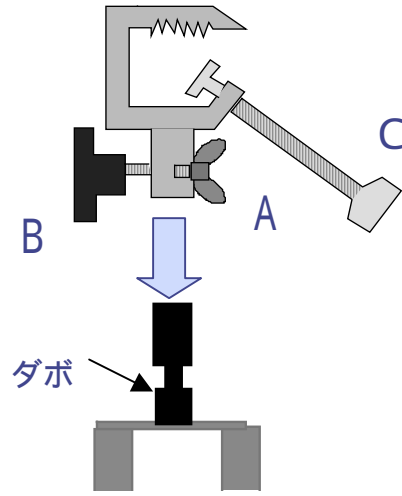
平行-T型変換ケーブルをつなぎ、既設コンセントに平行プラグを差し込む

電源まで距離があるときは延長ケーブルをスポットと変換ケーブルの間に入れる



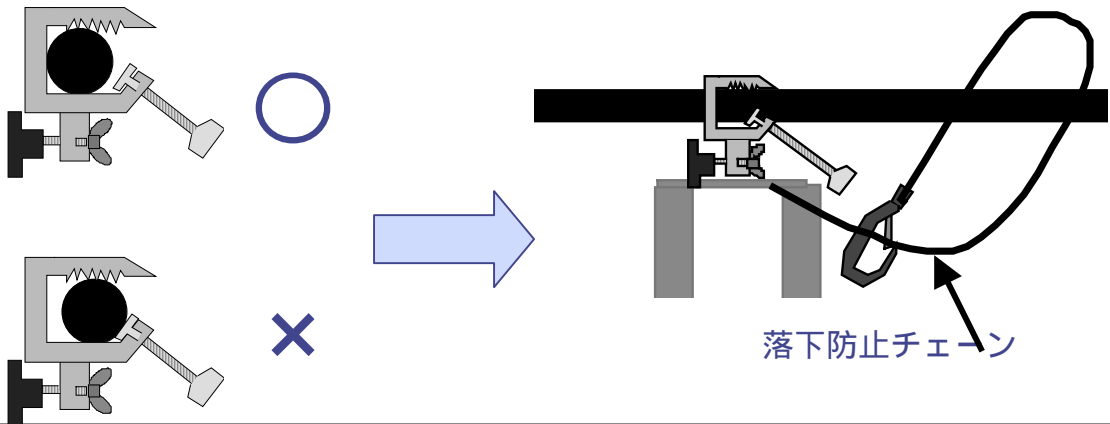
セッティング方法 (ハンガー使用の場合)

スポットにハンガーを取り付ける
スポットのダボのへこんでいるところにハンガーのA、Bのネジが入るようにします。



バトン (パイプ) にスポットを吊りこむ

バトンに吊り込むときはハンガーを奥まできちんと入れ、Cのネジをしっかりと締めます。
スポットの落下防止チェーンは必ずバトンにかけて下さい。

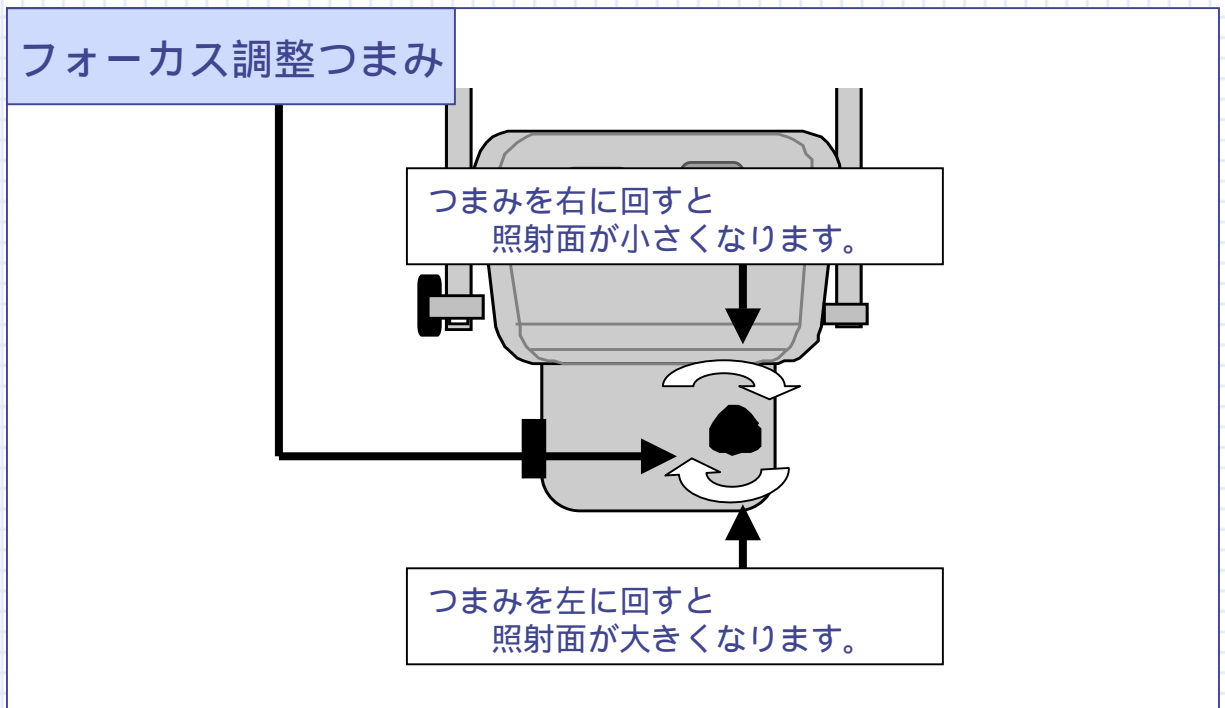


スポットの電源を取る

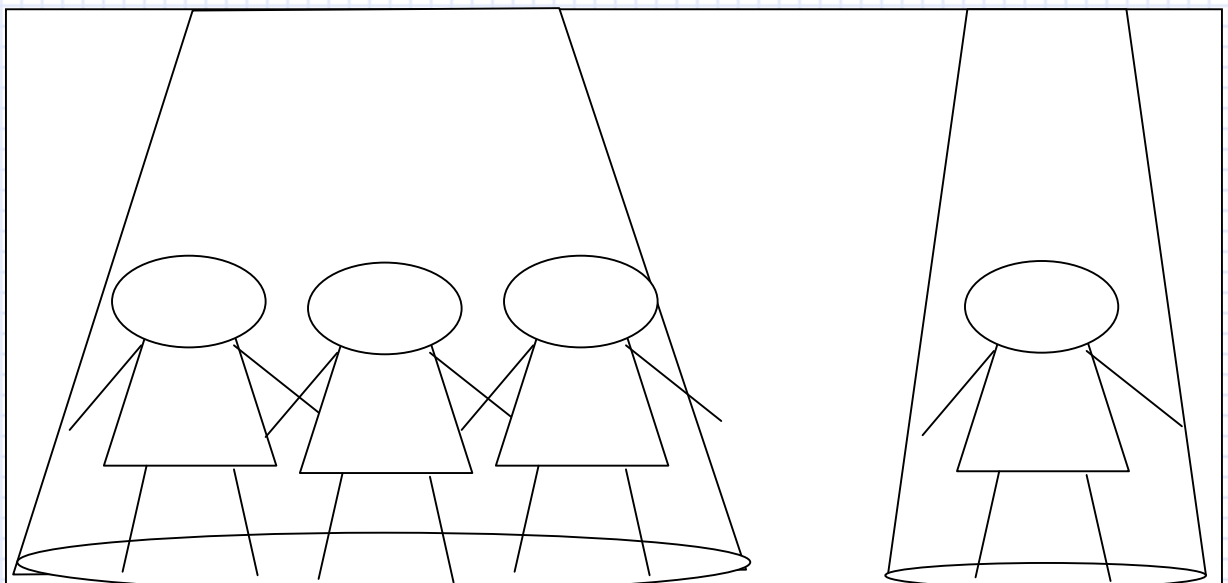
スポットはT型プラグになっています。バトンに電源コンセントがT型でついている場合はそのまま差し込めますが、ほかの型のコンセントの場合変換ケーブルが必要になります。

フォーカス調整

- ◆ 使用目的に合わせてフォーカス（照射面の大きさ）調整をしましょう



つまり



つまみを左に回すと光のエリアが広がるのでフラットな照射面になります。
右に回すと光のエリアが小さくなるので特定の人物に当てるスポット効果が出ます。

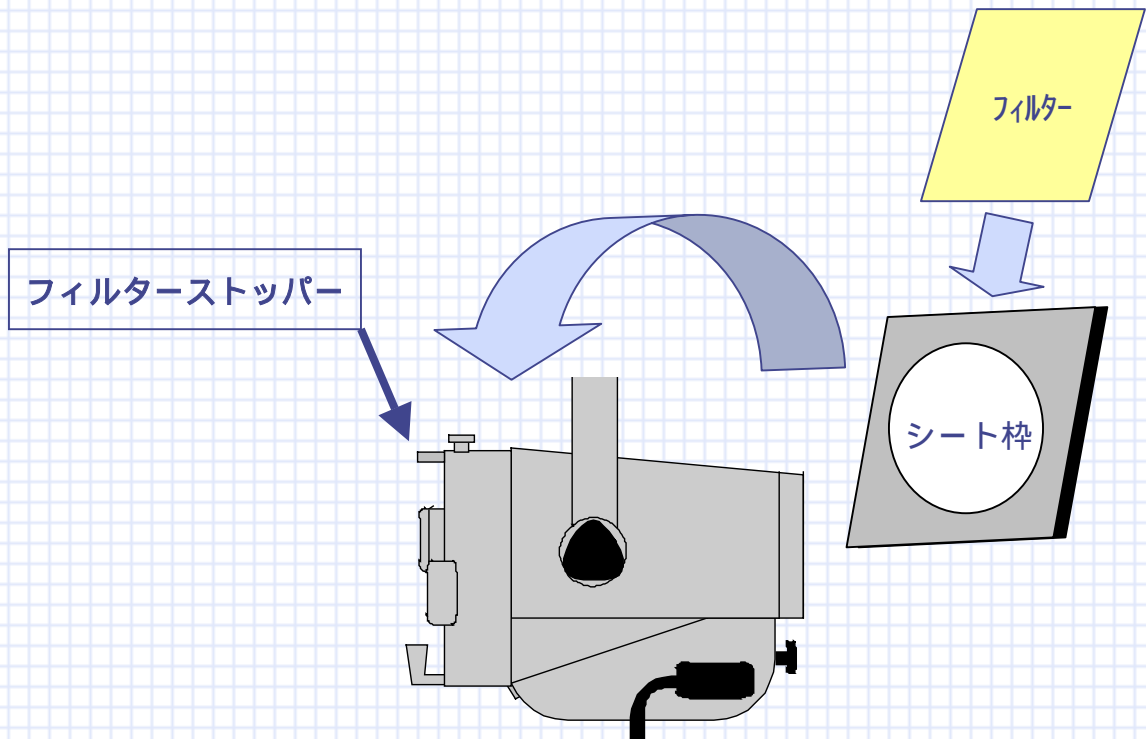
シート枠のつけ方

◆ フィルターを使う

シート枠にフィルターを差し込みます

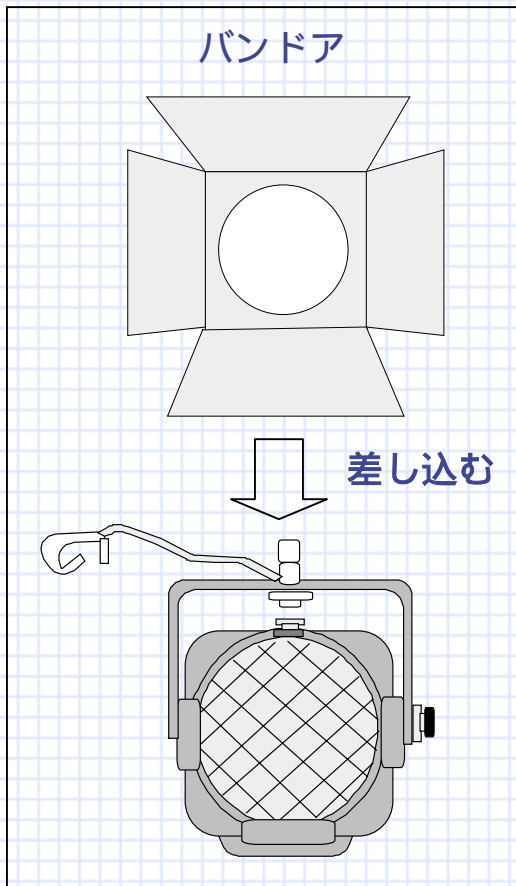
シート枠をスポットの上から取り付けます

フィルターストッパーを縦方向にしてシート枠を固定します



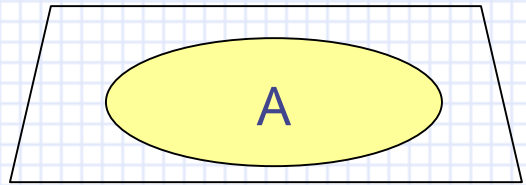
バンドアを使う

◆ バンドアを使ってエリアを区切ってみよう

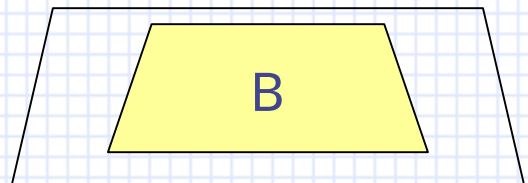


バンドアを使用すると

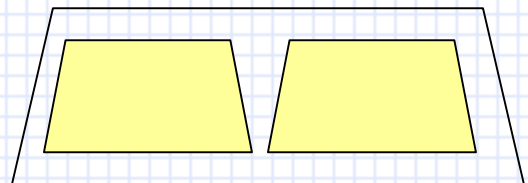
A. バンドアなしの場合



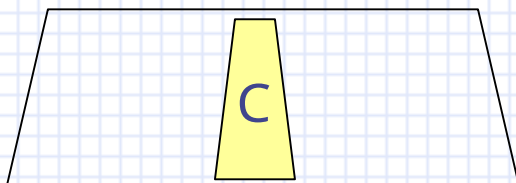
B. 四角いエリアを作る



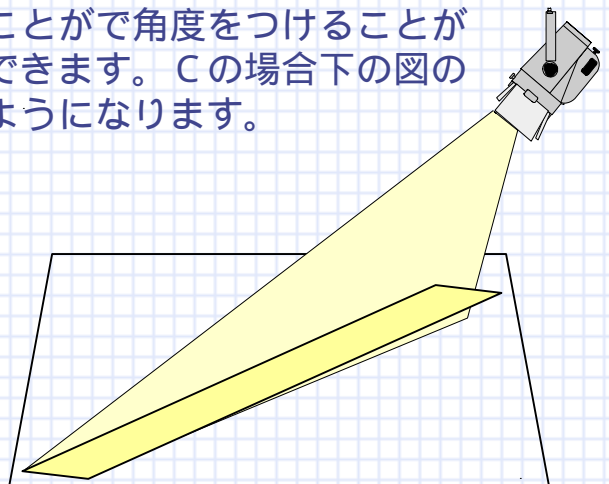
たとえば2台のスポットを使って
下の図のようにすると同じ舞台上
に2つの空間ができます。



C. 細長い道のようにする



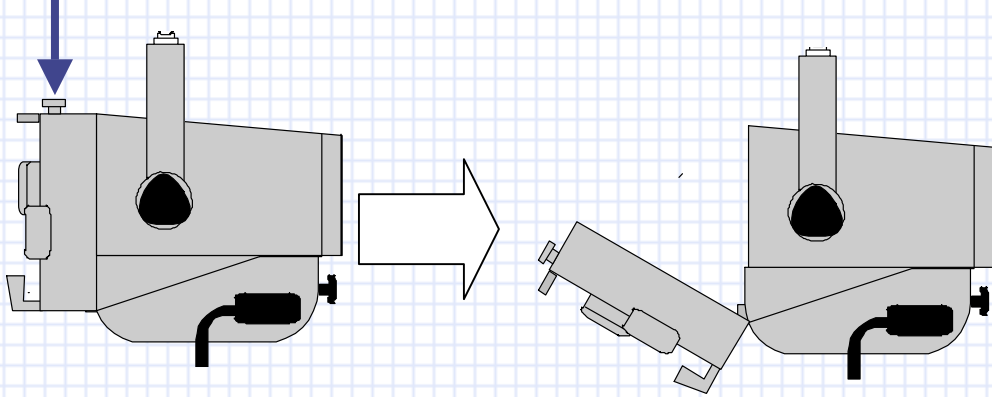
また、バンドアは回転させる
ことがで角度をつけることが
できます。Cの場合下の図の
ようになります。



電球の交換

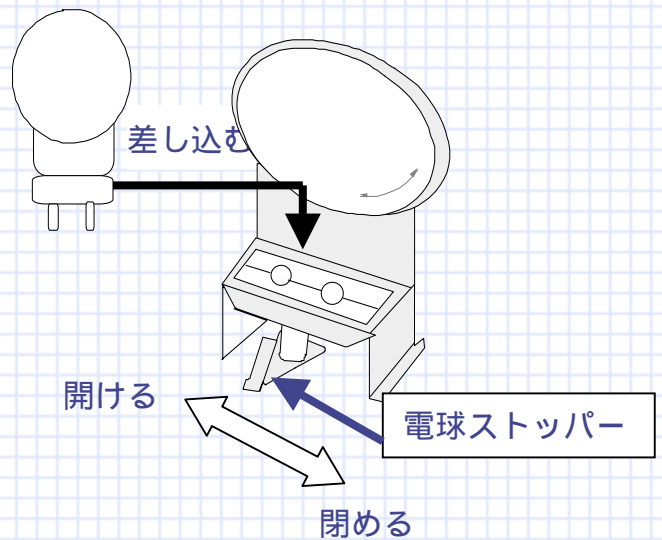
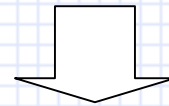
◆ もしも、電球が切れたら

前蓋開閉ストッパー



前蓋開閉ストッパーを上にも引く

蓋を開ける



電球ストッパーを左に倒すと電球が外れるようになります

新しい電球に取り替えたら、ストッパーを右に倒して電球を固定します